

東大阪市支援教育研究会 作品展

東大阪市支援教育研究会が毎年開催している支援学級児童・生徒の「作品展」が東大阪市総合庁舎の多目的ホールで2月4日（土）、5日（日）、6日（月）の3日間行われました。これは東大阪市の支援教育について保護者や地域の方々に理解を深めていただきたいと考え、市内の小中学校の支援学級で学ぶ児童・生徒の絵画・工作・陶芸・手芸・書道などの作品を展示したものです。

今年は、中学校20校小学校51校が参加出展しました。

見学日に土、日曜日が入っていたことや、地域の方々にも定着してきたため、200名以上の方々が見に来て下さいました。

感想もたくさん寄せて下さり、「色使い、デザインなど作品のすべてに勢いや元気が感じられ、学校生活を楽しんでいる様子がうかがえました。」「どの学校も個性豊かで楽しいです。とても細かい作業を頑張っている作品は圧倒されました。見に来てよかったです。」「身近にある物で手間をかけ、想像力を働かせることで、こんなにすごい作品に仕上がるのかと、とても感動しました。子ども達の一生懸命に取り組んでいる姿が目浮かぶようでした。」等と書いて下さいました。

3日間という短い期間でしたが、子どもたちが学校生活の中で楽しく制作した作品を多くの方々に見てもらうことができた「作品展」でした。

（文責 深掘）

